

教科(科目)	芸術(美術)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修(音楽・美術・書道より選択)
単位数	商業科 2単位 食物科 2単位 生活文化科 2単位 福祉科 2単位	教科書	高校美術(日本文教出版)
		副教材	ビデオ・参考作品
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校美術における内容の基礎の上に、幅広い学習能力を展開し、学習させる。 ・自己教育力を高め、生徒が主体的に表現を追求し、学習できるような能力の育成を図る。 ・表現と鑑賞とを交互に関連させ、造形活動の社会との関わりについて理解を促す。 		

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の基準等
4	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・高校美術の意義と内容 ・表現や鑑賞について ・アンケート等による自己紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己、社会、表現などに対して興味、関心を持っている
5	身近なものから	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物などを利用して制作できることを知る ・ダンボールでの作品例を見て、自由な発想で創り上げていく ・剥がしたり、折ったりして加工の仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・個別指導 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実に見慣れている使用方法にとらわれず、自由な発想で制作できる
		<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みのカレンダーやコピー用紙、英字新聞を積極的に活用し、コラージュする ・テーマを決め、それに沿って画面を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・個別指導 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・切り取り、コラージュしたときの面白さを味わうことができる
6	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルを利用して制作している作家の作品を紹介する ・知的障害を持つ同世代の生徒作品を見る ・パソコンの画面上で見たり、可能な限り現物を提示し、自由に意見を述べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に発言している ・提示された作品に興味を持つ
	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩について学習する。 ・文字デザインを学習する。 ・ポスターの特性、役割について学ぶ。 ・ポスターを制作する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・個別指導 ・作品 ・合評会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの持つメッセージ機能について理解する。 ・自分の伝えたいことが見る人に解りやすい作品に仕上げる。 ・技術的に美しく表現できている。(色彩バランス、文字のバランスなど、画面の調和を考えることができる。)
7	彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・工作用のバルサ素材の軽く、成形しやすい特徴を生かして作品制作をする ・彫刻刀やカッター、ナイフで彫る ・作品例から、より効果的な形態になるよう構想を練る 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・個別指導 ・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の特徴を味わい、生かしながら制作することができる ・彫る行為を楽しむことができる
	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻で活躍する現代作家の作品や、民族彫刻などの作品例を見る ・県内の美術館の所蔵する作品を例にあげる ・同じ作家の作品をなるべく多く見て、作品に対する適切な理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・プリント 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された作品に興味を持つ ・美術館の役割について知る
期末考査(デザインと彫刻による作品制作の手順、注意点、表現について)				

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の基準等
9	デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 立体，胸像の石膏デッサンを学習する。 形態のとらえ方，明暗，陰影の表し方，比例，均衡，動勢の表現を学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 個別指導 作品 合評会 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりによく見て観察し，表現できる。 全体を意識しながら，立体的に表現できる。
10				
11	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> グッドデザイン賞について理解を深める。 グッドデザイン賞を獲得した製品を見る。 モノを通じた人と人とのつながり，コミュニケーションの広がりについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に作品を鑑賞したり，ビデオを見ることが出来る 自分でもデザインしてみる。
12	絵画	<ul style="list-style-type: none"> 油絵具，アクリル絵具，水彩絵具，ペンキ，色鉛筆，クレヨン等様々な画材を用いて（ミクストメディア）絵画表現する ストレートに自己を見つめ直す中で，自分と向き合ったり，家族や友達，社会とのつながりについて考えるきっかけとする 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 個別指導 作品 プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 描きたいイメージを具体的に述べる事が出来る イメージしたものに向かって着実に画面を作っていくことができる
期末考査（デッサンと絵画による作品制作の手順，注意点，表現について）				
1	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 和紙に文字の書かれた袋状の商品や，表紙に書かれたメモ帳・便せん等，知的障害者の作業所が販売している工夫の凝らされた商品を手にとって鑑賞する アイデアと工夫次第で様々な商品化できることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に作品を鑑賞できる 様々なアート作品の商品化の方法について知る
2	染色	<ul style="list-style-type: none"> 普段，家庭やスーパーで目にするコーヒーやお茶を何種類か用いて染める 布を染めていく手順や注意点を理解する 草木染めや化学染料を用いる方法を知る 染めた布に文字や言葉，抽象的な形などで表現する 文字の大きさ，形，配置に工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 個別指導 作品 プリント 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な染色の手順がわかる お茶のできる染色に興味をもつ 言葉や文字のかたちやそれらがもつ意味に関心をもつことができる
3				
学年末考査（染色による作品制作の手順，注意点，表現について）				

評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度

美術を愛好し，表現の主題や形式などに幅広く関心をもち，感性を高めて意欲的，主体的に表現や鑑賞の活動を行い，その喜びを味わおうとする。

発想や構想の能力

感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り，豊かに発想し創造的に表現を工夫する。

創造的な表現の技法

創造的な表現をするために材料・用具を生かして表現する技能を身に付けている。

鑑賞の能力

作者の心情や意図と表現の工夫，生活や自然と美術との関連，日本の美術の歴史などを理解し，そのよさや美しさを味わう。

「美術」の総合評価における各観点の割合

関心・意欲・態度	20%程度	発想や構想の能力	30%程度
創造的な表現の技法の能力	30%程度	鑑賞の能力	20%程度